



Immoral Alter's



マスターくんっ

本っ当に
すまないっ!!



わかりました
この荷物を
預かっておけば
いいんですね?

ああ諸事情で
手元に置いて
おけなくなっ
てね

かまいま
せんよ

スタッフの
皆さんには
いつもお世話に
なってますし



ああ
それと中身の
ことなんだけど

いや……気に入ったら
ぜひ使ってくれて
いいから

あっ……大丈夫ですよ
絶対に見ませんから

は……はあ?

大役を押し付けてる
僕らからすれば
心苦しいけど

君は英雄達と
心通わす程
誠実だからね



マスター



はあ？なに？
休日寂しい
マスターを
気付かって？

わざわざ
私に来てあげたのに
いないとか？

遊びに来て
あげたわよ



.....



がなまなま

私が寂しい
変態じゃないっ!!



あ

マスターの
匂い

ド
ド



ああっ!?



ド
ド



この変な
道具は?

…って何?



何か荷物に
当てっ…

こ…壊して
ないわよねっ…??

マスターの
居ぬ間に物色とは

イイ趣味だな
変態女

ふふっ
今の私はマスターの
メイドだからな

……ってか
アンタっ!!
その恰好は何よ!?

そうかそうか
まったくしょうがない
マスターだな

……は?
アンタこれが
わかるの?

ぬ……?
貴様が持ってる
それは……!



いや
生娘にはまだ
早い話だと思っ



……何よ

は…はあっ!?!
私が生娘っ?
そ…そんなワケ
ないじゃない



アンタと違って
私はマスターと
そういう関係だし?

そりやもう
マスターはもう
私じゃなきや
駄目っていう
ぐらい—?!

アンタには
残念な話ねっ!!



あの
マスターが
貴様相手だけで
満足—?!



あ…アンタ
まさか—っ?!

それはもう
貴様が来る前から
そういう関係
だったということだ

それも
『何度』も求めて
くる程になっ!!

な…
なんですってっ!?

経験回数
一回

違っつ!!
こっちが
何度も変われ
るんだっ!!

貴様が持つソレは
マスターが
用意した

夜の営みの
満足度を上げる
大人の玩具と
いうやつだ

お…大人のっ!?

…という事だから
さっさと寄越せ

私はこの後
マスターを迎える
準備をしないと
いけないからな

…どうして
躲す?

あはははっ
笑わせるわっ!!
『満足度をあげる?』

要は玩具に
頼らなきゃ
マスターと十二分に
できないって事でしょ!!

……つまり
『私はそんな
玩具には
屈しない』
そういう事
だな—?!

カッパカッパ

面白い
—ならば

試して
みようでは
ないか



ちよっ

ちよっど!!

ふっ…これこそ
アルトリアメイド
束縛術—っ!!

なによ
この格好っ!!

ふふっ…
まずは…

フム

へえ
その変な棒で
弄るだけ？

そんなので
何も感じる
わけが

うん

そうだな
お楽しみは
これからだ

なんか
震えて…っ!?

どうした？
声の上擦って
いるぞ？

まさか
もう降参か？

そうか
足りないか

……そんなワケ
ないでしょ

なら安心しろ
貴様がぶちまけた袋には
まだたくさんある
ようだからな

たかがこんな
玩具一個——ちよっと
くすぐったかった
だけよ

ちよ……ちよっと
待ちなさいっ!!

却下する

嫌っ——っ!?

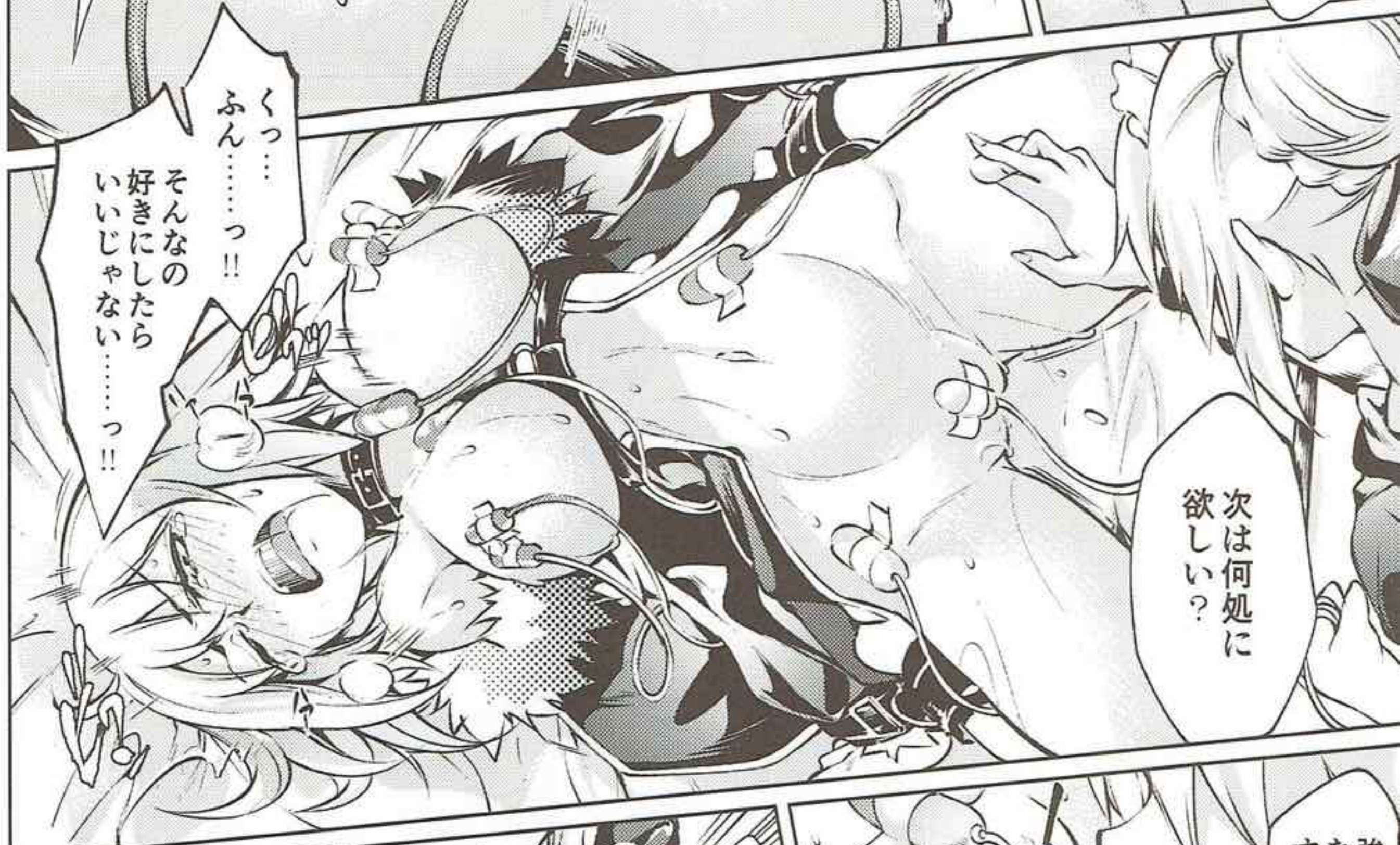
ほっ

ひひひ



いつうっ
むっ...

ひとつ
ふたつ



くっ...
ふん...っ!!

そんなの
好きにしたら
いいじゃない...っ!!

次は何処に
欲しい?



強情だな
ならこの中に
するか

ふむ

まだまだ
挿入りそうだな

ほら...挿入って
いく...ぞっ!!



んう…ふうっ…
このオ…っ!!



あ…あ…



お腹の中で
玩具が響いてっ…!!



次は強さを
上げてみるか

でも
まだ耐えられ
る…っ!!

そろそろ
負けを認める気
になったか？

誰がアンタ
なんかに…!!

馬鹿も
休み休み
いいな

ん

っ
?!

しゅん



おたん

ふふっ
怖い怖い

だが
興がのったぞ

泣かす…
絶対後で
泣かすから……っ!!

次はこれで
相手をしてやろう

む：無理っ!!
そんなの挿入らないっ!!

待っ……!!

マスターのも
挿入ったのだろう?
ならば問題ない

ギャッ

きたあ…っ!!

私の膣内に
太くて…
ごっごっしたのお…!!

ふふっ
マスターのと
どちらがいい?

もちろん
これも
振動付きだぞ

太いのお…!!

奥で震えてるう…!!

こんな玩具に
屈したりしない
だからっ！



反抗の目は
今だ消えず
か

最後まで
あがらう根性は
恐れ入った

これからは
本物が相手だぞ？

そんなお前に
褒美をやるう

は…はあ？
いらわないわよ

そういうな
お前が一番
欲しかったモノだ



コ
ン
ク
レ
ッ
ト



それより
マスター

こ…
これって…

ふふっ
聞き耳を立てて
いた癖に



すぐそこに
準備万端の雌が
いるのだが

どっするっ？



……いいわよ

ジャンヌ



うしろお……♡

あの玩具より
こっちの方が
断然いいのお……♡

マスター
そちらだけで
盛り上がるのは
頂けんな

私に道具を
使っても
構わないぞ

……マスターも
興味があるなら

んっ……んっ……んっ……♡

こっ……
これは……♡





あーあーあー

あーあーあー


あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー





初めまして、こんにちは。丸野十弥です。

今回は新宿のオルター三人組です。
といってもアルトリアの方は水着ですが(ガチャでなかった...!!)
ほんとの二人のコンビは大好きです。

とまあ、そんな理由で描いた本ですが.....
時間が足りなあああ!!
ジャンヌちゃんを玩具で虐めたい!!!と描きはじめ
もっといろいろとしたかったのですが、
時間とページの都合上泣く泣くカットしたところ多数。
.....無念。あと最低10Pは描く時間欲しかった><
もうネロ祭周回全然できませんでしたぜorz

そんな感じでしたが、
この本をお手に取っていただき誠にありがとうございます。

それではまた!



—— 奥付 ——

発行日:2017/9/24
発行誌名:Immoral alter's
発行イベント名:サンシャインクリエイション2017 Autumn

発行サークル:漆黒のバゼラード
発行者:九野 十苺

URL:<http://jbbaselard.sakura.ne.jp/>
Mail:j_b_baselard@hotmail.com

印刷所様:太陽出版

◆◆禁・無断転載/18歳未満購入禁止◆◆



漆黒の
BaseJard

2017/09